

# 中国民放クラブ活動だより

「コロナにも負けず・・・」

広島支部麻雀同好会

熊野隆史(RCC)

6月4日、コロナ対策の新しい方式として窓を開け、卓に向かう顔にはフェースシールド、マスクを被り、手にはビニール手袋という出で立ち、広島支部第29回麻雀大会を「八丁堀くらぶ」で開催した。会場は2卓のみの競技、三カ月ぶり、頭は回るのか、指は動くのか：

しかし「半荘」すると戻ってきた。ただ、飛沫感染を注意して、かなりダンマリの進行、小さな声で「ロン」静かな勝負の結果は、

優勝 平本 幸さん  
 準優勝 朽木 守男さん  
 三位 浅井 昭秋さん



優勝者 平本 幸さん(右)

次会は7月一週目の木曜日、と決めて、明るい日差しの中に散会した。



フェイスシールドと手袋で防備(筆者)



第29回麻雀大会参加者

「コロナ禍とIT」

若槻匡志(RSK)

令和2年、3月あたりから予想

外のコロナ禍パンデミックにより、特に高齢者にとっては外出もままならぬ毎日が続いています。

この為、民放クラブの各地区や支部でのイベントを中心にした集まりは大半が中止や小人数での開催となり、岡山支部も同様の状況となりました。岡山支部ではコロナ禍対策として会員の85%(117名)が加入しているメールとホームページを可能な限り活用することにしていきます。

メールはメーリングリストを使って、主に同好会連絡と慶弔連絡を実施し、ホームページでは各幹事よりメールで送られた同好会実施報告を掲載して会員はパソコンやスマホで随時閲覧しています。

同好会の集まりが少ない中で、写真同好会の月例写真作品展と川柳会による川柳のweb掲載(2ヶ月毎)は定番として続いています。

写真作品展は通常、撮影会とペアーで実施することが多いのですが撮影会は中止。川柳会は夜間会食しながら選句をしていましたが、これも中止、しばらくは我慢が続きます。また、先頃コロナ禍、3密を回避する目的でZoomアプ

リによるリモート会議の練習会を実施しました。

各自が自宅でパソコンを操作してweb画面に集合し、気ままに会話を楽しむことが出来ました。コロナ禍がさらに長期化するようであれば、会員間の練習を広げて活用していきたいと思っています。

(参考) 民放クラブ岡山ホームページURLとQRコード

<https://www.cmc-okayama.com/>



リモート会議の練習中 2020/8/23

